

生ごみ処理施設ランニングコスト比較表

	伊那市の焼却経費	佐久市堆肥製産センター	駒ヶ根市堆肥施設	飯田市堆肥センター
(A) 経費	215,806 千円 (第1回委員会資料No.2・P4)	23,256,965 円	14,800,000 円	10,466 千円
(B) 処理量	13,963 t (第1回委員会資料No.2・P4)	911 t	129 t	441.21 t
(C) 1 t当たり処理経費 (A ÷ B)	15,456 円/t	25,529 円/t	114,729 円/t	23,721 円/t
(D) 伊那市の推定生ごみ量 (第2回委員会資料No.2・P1)	3,794 t	/	/	/
推定生ごみ量を各施設で全量 処理した場合の処理費 (C × D)	58,638,399 円/年	96,857,218 円/年	435,280,620 円/年	89,997,969 円/年
備考	処理量は鳩吹クリーンセンター可燃残渣含む。	施設建設費及び起債償還金は別途 経費は歳出－歳入 (平成20年度決算) 歳出 27,527,275円 歳入 4,270,310円	経費約28,000千円の内、収集運搬費約13,200千円は除いて計算	施設建設費及び起債償還金は別途

課題

- ①施設の場所
- ②処理の方法・方式
- ③堆肥の受け手
- ④堆肥の施肥方法